

令和2年5月22日

会員各位

公益社団法人奈良県柔道整復師会
会長 川口 貴弘

帰国者・接触者相談センターへの相談や受診の目安について
(お知らせ)

前略失礼いたします。

新型コロナウイルス感染の可能性のある場合の帰国者・接触者相談センターへ相談の目安として、「37.5度以上の発熱が数日間継続する」との項目が示されていましたが、誤解を招くことを理由に削除されています。

以下、厚生労働省による新たな相談目安についてご覧ください。

草々

次の症状がある方は下記を目安に「帰国者・接触者相談センター」に
ご相談ください。

少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに御相談ください。

(これらに該当しない場合の相談も可能です。)

☆息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかが
ある場合

☆重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
(※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある
方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

☆上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差があります
ので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み
続けなければならない方も同様です。)

相談は、帰国者・接触者相談センター（地域により名称が異なることがあります。）の他、地域によっては、医師会や診療所等で相談を受け付けている場合もあるので、ご活用ください。

（妊婦の方へ）

妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センター等に御相談ください。

（お子様をお持ちの方へ）

小児については小児科医による診察が望ましく、帰国者・接触者相談センターやかかりつけ小児医療機関に電話などで御相談ください。

※なお、この目安は、国民のみなさまが、相談・受診する目安です。

これまで通り、検査については医師が個別に判断します。

センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。

マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

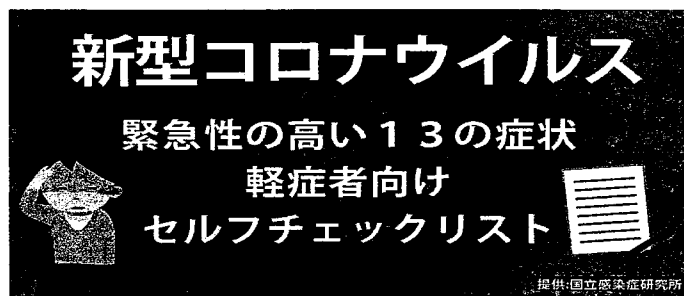
【相談後、医療機関にかかる時のお願い】

複数の医療機関を受診することにより感染を拡大した例がありますので、複数の医療機関を受診することはお控えください。

医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖・肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

厚生労働省は「高熱」について、自らの平熱を踏まえて判断するように示しています。症状については、個人差もあることから強い症状だと思えばすぐに相談するよう奨励しています。また、症状の1つとして報告がされている「味覚や嗅覚異常」については、専門家の意見が統一されていないことから記載されていないようです。いずれにせよ、異常を感じた場合には相談するよう呼びかけています。

別紙 国立感染症研究所による「新型コロナウイルス 緊急性の高い13の症状 軽症者向け セルフチェックリスト」もご覧ください。



緊急性の高い症状

表情・外見

- 顔色が明らかに悪い ※家族や同居者が見て
- 唇が紫色になっている
- いつもと違う、様子がおかしい ※家族や同居者が見て

息苦しさなど

- 息が荒くなった（呼吸数が多くなった）
- 急に息苦しくなった
- 生活をしていて少し動くと息苦しい
- 胸の痛みがある
- 横になれない 座らないと息ができない
- 肩で息をしている
- 突然（2時間以内を目安に）ゼーゼーしはじめた

意識障害など

- ぼんやりしている（反応が弱い） ※家族や同居者が見て
- もうろうとしている（返事がない） ※家族や同居者が見て
- 脈がとぶ、脈のリズムが乱れる感じがする

厚生労働省はこれらの項目を原則1日2回確認し、該当する症状が1つでもあった場合には、**ただちに看護師や自治体の相談窓口**に連絡するよう呼びかけています。

このほかにも気をつけて観察すべき症状

- 咳やたんが、ひどくなっている
- 起きているのがつらい
- 嘔吐や吐き気が続いている
- 下痢が続いている（1日3回以上の下痢）
- 食事が食べられない
- 半日で一度も尿が出ていない
- その他の症状（鼻水・鼻づまり、のどの痛み、結膜充血、頭痛、関節筋肉痛、けいれん など）

こうした症状にも注意し、症状のでた日時や状況を記録しておくようにしましょう。